

業務瓦版

2013年 3月 6日

第 8 号

JR東海労新幹線地本
業務部

根拠のない要員削減！ ”人減らしありき”の「検修体制見直し」反対！

「交番検査・仕業検査体制の見直しについて」に関する追加申し入れで業務委員会開催！

新幹線地本は2013年3月4日、申18号『「交番検査・仕業検査体制の見直しについて」に関する追加申し入れ』について業務委員会を開催し、組合員の声に基づいて会社と協議しました。会社は要員削減の具体的根拠については今回も一切明らかにしませんでした。あらためて『人減らしありき』の姿勢が明らかになりました。主なやり取りは以下の通りです。

番線を変更するだけで要員を削減！ なぜだ??

組合：要員削減の根拠についてあらためて示してもらいたい。

会社：現在第一検修庫・第二検修庫で行っている作業を集約した結果、仕業検査は4班でやっていたものが3班でできると判断したためである。

組合：それでは説明になっていない。番線を変更したから1班削減できたといっているだけである。そもそも今回の提案は合理化なのか、効率化なのか会社の認識はどうか。

会社：会社としてはこれまで説明したとおり、仕業は4班から3班でできることが分かったからである。

組合：だから合理化ではないのか。「仕業は4班から3班でできることが分かった」と言うが何をもって分かったというのか。

会社：配置を見直すことによって適切な体制になったということである。

組合：これまでは適切ではなかったということか。

会社：より適切にということである。

「一人当たりの1日の業務量は増える」労働強化だ！

組合：業務量が変わらず人だけ減らすのは労働強化である。

会社：一人当たりの1日の業務量は増えると認識している。

組合：それを労働強化というのだ。

会社：会社は労働強化という言葉は使わない。仕業は4班から3班でできる目途が立った。

組合：仕業班を4班から3班にしたかったということか。

会社：より良い方法ということである。

組合：会社としてのよりよい方法とは何か。人を減らして人件費を減らしてコストを下げるということなのか。

会社：より良い、適正なということである。

組合：いずれにしても要員を減らす根拠が分からない。人を減らしたかったということか。

会社：減らすというか、結果としてそうなる。

組合：今提案は労働強化を強いる合理化だ。

会社：貴側がどのように表現するかは構わない。

組合：労働協約の中に、経営協議会の付議事項にも「合理化」という文言がある。合理化についての会社の認識・定義はどうか。

会社：協約の文言については地方でやることではない。本社、本部間でやることだ。

組合：幹鉄事として合理化とはどういうことをいうのか聞いている。

会社：幹鉄事で云々ではなく会社としてということになる。

組合：幹鉄事としては答えないということを確認するがよいか。

会社：はい。

仕業検査本数は各班 11 本程度、しかし要員数は答えず！

組合：各班の仕業本数は何本となるのか。

会社：1班あたり11本ぐらいである。

組合：必要な要員は配置しているというが、仕業検査で「必要な要員」は何名なのか。

会社：詳しい数を示すつもりはない。

組合：組合と会社の認識が違っている。前提的な認識を一致させないと議論にならない。ちゃんと答えよ。現在員から8名引いた数でよいか。

会社：・・・

組合：仕業の要員は示すつもりはないということを確認するがよいか。

会社：はい。

組合：申告班について、必要な要員は確保しているということは、申告班の作業で重複することはないということによいか。

会社：どのような故障がいつ起こるかは分からないが、作業の確実性を確保した作業計画を行う。

組合：やっている作業を優先するということ、現場にしっかりと指導すること。

会社：了解。

ミス防止対策と安全対策を早急に！

組合：外勤室の操作盤の扱いについてどのような理由で現状で良いということか。ミスの発生防止のために必要である。

会社：時期ははっきりできないが、検討はしている。今は現状でということである。

組合：検討の余地があるということを確認する。

組合：検修庫1番線での前頭洗いをやると言うが、現状では無理ではないか。何か安全対策を施すのか。

会社：現状で問題ないと判断している。

組合：現場作業者は問題ありと指摘している。しかし、会社「問題ない」という認識であることを確認する。

労働災害防止に消極的？設備改善もやる気なし！

組合：設備改善については、ほとんど現在維持という回答だが、検修庫内の現状について、しっかり把握しているのか。

会社：現状とはどういうことか。

組合：(仕業番線の作業用)ピットが浅いということは認識しているのか。それによって腰を痛めているということがあるがそれも認識しているのか。

会社：ピットが10cm程度浅いというのは認識している。しかし、それが腰痛と関係があるかどうかは分からない。人によって違う。

組合：改善を検討するべきだ。

会社：検討して今回の回答となった。

組合：労災に関わることだ。安全上どうなのか。

会社：・・・

組合：例えばグレーチング(排水溝の金網)の不具合箇所に赤いペンキで印をつけただけでよいのか。

会社：不良箇所は把握しながら対処している。

組合：対処しているというが実際に直っていない。グレーチングで言えば床のコンクリート自体が盛り上がっているから凸凹になっているのだ。根本的な修繕が必要である。そのような修繕計画はあるのか。

会社：必要があれば計画する。

組合：労災防止のために早急にやるべきだ。労働強化で疲労した状態で、凸凹の足場では労災防止上問題である。具体的な対策をすること。

検修庫内の不良個所を一斉点検して修繕計画を立てるべきだ！

組合：300系設備の撤去計画はいつか。

会社：不要な設備は撤去するが、時期はまだ分からない。

組合：ダイヤ改正にかかわらず早急に撤去すること。

組合：ローソク柱(検修庫内のレールを支えるコンクリートの柱)は、鉄筋が見えているもの、コンクリートが剥がれているものなどもあり、不安を感じている。強度は大丈夫なのか。また、修繕計画はどうなっているのか。

会社：修繕計画については把握していない。強度については問題あるとは聞いていない。

組合：修繕計画については後日にでも明らかにすること。

組合：検修庫内を一斉点検して、不具合箇所の修繕計画を立てるべきである。

「現状で十分である」と言い切る会社とは？

組合：詰所の空調装置の改善についても「現状のままで対応されたい」と言うが、問題であるから要求している。現状でよいと思っているのか。

会社：現状で十分である。

組合：現状で十分？それは失言ではないのか。今の回答を確認する。

説明会は現場判断で行う

組合：仕業の変更についての現場説明は行うのか。

会社：必要な事柄についてはやる。

組合：現場判断ということか。

会社：そうである。

交番検査3班の引越しは業者が行う

組合：交番検査3班の引越しについて、社員が行うことはあるのか。交検の人たちは業務が終わったら帰れるのか。

会社：全員ではないがそうである。荷物の移動は業者が行う。新しい詰所の整理などは社員が行うことになる。

検修体制見直し案を撤回せよ！！

組合：今日の回答は不十分である。やはり今提案については納得できない。撤回すること。

会社：そのような考えはない。

以 上

*私たち新幹線地本は職場の組合員・社員の声をもとに、安全で働きやすい労働条件および職場環境の改善に向けて、今後も会社に申し入れを行い問題解決に向け協議していきます。問題点や要望事項等があれば JR 東海労新幹線地本までお知らせ下さい。